



「長万部高校に関する地域懇談会 part2」Topics

11月号に引き続き、10月28日（火）に開催いたしました「令和7年度北海道長万部高等学校に関する地域懇談会」で町民の方々からいただいたご意見をまとめた内容を、高校の視点から特集号として掲載いたします。

11月号では、

1【現状】長万部高校の現状に関する町民意見

2【課題】これからの長万部高校に対する町民意見

の2点について整理・分析いたしました。その内容をおさらいすると、次のようになります。

まとめ（総括）について（※前号（11月）より抜粋）

町民の意見を総合すると、長万部高校の課題は以下の三層構造で整理できます。

（1）直接的課題：部活動の選択肢、人間関係、外への憧れ

（2）間接的課題：広報不足、進路不安、学校イメージ

（3）根本的課題：少子化、人口減少、地域活力の低下

多くの町民は「長万部高校が悪い」のではなく、「地域全体の構造的課題」として捉えており、学校と町が一体となった取組を求めています。

今後は、学校・町・地域住民が連携し、「選ばれる学校」「誇れる町」の実現に向けた方策を検討していくことが重要であると考えます。

これらを受け、町民の方々の高校及び町への意見や課題をまとめると次のとおりとなります。

（1）高校の特色化

（IT教育、地域資源活用、理科大連携）

（2）進学支援強化（推薦枠、学力向上施策）

（3）校風改革（自由度向上、生徒主体）

（4）町外生徒の受け入れ（寮、留学制度）

（5）地域との一体化（イベント、探究学習）

（6）PR戦略の強化（SNS、メディア活用）



12月号では、「10月28日に開催された説明会に対する町民の皆様からのご意見の整理」と「その他のご意見の概要」について、取りまとめた内容をご紹介します。

～長万部高校のホームページに掲載！ぜひ、ご覧ください。～

10月28日の説明等に対する町民意見の整理

1 説明会・説明内容に対する評価について

- （1）北海道教育委員会及び本校校長の説明は、「大変有意義でわかりやすい」との高評価をいただきました。
- （2）説明資料（レジュメ）の提供希望があり、議事録や説明内容について、町民へ広く公開してほしいとの意見が多数寄せられました。

（※11月号～12月号を

広報に折り込み、公開いたします。）

2 高校存続・生徒募集に関する意見について

- （1）少子化や私立高校の無償化により、生徒確保が厳しい状況であることを町として共有しています。
- （2）入学者数基準（20名）が町規模の高校には厳しく、柔軟な運用を望む意見が多く寄せられました。
- （3）高校単独の生徒数のみで統廃合を判断せず、地域全体の進学率を考慮すべきとの意見があります。
- （4）長万部高校の努力や現状を評価し、町として今後もバックアップや支援を継続してほしいとの声が多く寄せられました。
- （5）他地域における高校存続の取組事例や通学補助制度について、情報提供を求める意見がありました。

3 地域・学校連携・広報に関する意見について

- （1）小中学生や保護者等に対し、積極的な情報提供やアピールが必要であると考えられています。
- （2）高校のみならず、町全体で教育環境や地域デザインを考えるべきであるとの意見が多数寄せられました。
- （3）学校が「来てもらう」のではなく「選んでもらう」という意識を持ち、地域全体が教育に関わる姿勢が必要であるとの意見があります。
- （4）東京理科大学の学生や他校との意見交換・交流機会の拡大を望む声がありました。
- （5）学校の日頃の取組や生徒の様子が町民に伝わりにくいため、紹介方法を工夫してほしいとの意見が寄せられました。



4 教育内容・学習環境に関する意見について

- （1）個々の生徒を支える教育活動や学校全体の努力に対し、感謝と敬意が示されています。
- （2）魅力ある教育課程の編成や、小中高一貫校構想など、地域教育の将来を見据えた提案を求める意見があります。
- （3）大学生との交流機会の拡大や、明るくフランクな学びの場づくりを期待する声がありました。



5 懸念・課題意識について

- (1) 人口減少が加速的に進む中、都市部に教育機会が偏る可能性について強い危機感が示されています。
- (2) 通学補助や生活支援など、道や町としての具体的な対応策が必要であるとの意見が多数寄せられました。
- (3) 高校の廃止・統廃合基準について、柔軟性のある運用や見直しを求める声が多く聞かれました。

6 まとめについて

- (1) 町民の多くは説明会の内容を概ね理解・評価しており、資料提供や情報公開の推進を求めています。
- (2) 長万部高校の存続を強く支持し、町や地域全体での支援や広報の強化を期待しています。
- (3) 少子化や都市部への集中に対する危機感から、柔軟な基準や地域全体での教育政策の構築を求める意見が多数寄せられました。



4 地域・町との協力について

- (1) 高校生と地域が協働できる場や活動の機会を、町として支援してほしいとの意見があります。
- (2) 教育資源や教育課程を町ぐるみで守り、町民の教育への理解醸成が必要であると考えられています。
- (3) 町民交流イベントの開催や高校生のアルバイト機会の拡充など、町の魅力向上策の検討を求める意見があります。

5 総合的な評価・感想について

- (1) 懇談会は有意義であったが、子どもの視点が十分反映されていないとの意見がありました。
- (2) 長万部高校の教育方針や取り組みに感動し、他地域からの生徒受け入れにも意義を見いだす声が寄せられました。
- (3) 保護者や町役場職員が自信を持って高校を薦められるよう、環境整備が必要であるとの意見があります。



その他のご意見の概要

1 高校進学・進路選択に関する意見について

- (1) 保護者等は、高校選択において部活動や大学進学の可能性を重視している状況です。
- (2) 個々の生徒の目標に応じた少人数教育の活用が望まれています。
- (3) 指定校推薦を活用した地元就職支援や、他校からの転入希望生徒への対応も期待されています。



2 情報発信・周知方法について

- (1) 高校独自の取組や特色を積極的に発信する必要があります。
(都市部でのPR、移住・就農フェアとの連携など)
- (2) 懇談会や町民参加型の会合を定期的 to開催し、情報共有や意見交換の機会を増やすことが望まれています。
- (3) 今回の開催の事前周知が不足しているとの指摘があり、チラシや告知体制の改善を求める意見があります。
- (4) 学校の現状が十分に周知されておらず、町民の認知度向上が課題であると考えられています。



3 教育内容・特色づくりについて

- (1) 道内では未実施の部活動や授業の導入に挑戦し、成功事例を参考とする方法が提案されています。
- (2) 東京理科大学との連携や大学生との交流によるキャリア教育を充実させることが望まれています。
- (3) 国内外の研修を定期的 to実施し、生徒の感性や視野を広げる機会の創出を求める意見があります。
- (4) 小中学校や地域社会との連携を強化し、部活動や地域活動の場を拡充する必要性が指摘されています。

11月号～12月号では、10月28日(火)に開催いたしました「令和7年度北海道長万部高等学校に関する地域懇談会」において、町民の皆様からいただいたご意見をまとめ、高校の視点から特集号として掲載いたしました。

寄せられたご意見は、長万部高校の現状や課題、そして今後の方向性を検討するうえで大変貴重な資料となります。

今後は、学校・町・町民が連携し、「選ばれる学校」「誇れる町」を目指した施策の検討を進めてまいりたいと考えております。実効性のある取組の推進に努めて参りますので、引き続き、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

～長万部高校 YouTube 動画～

ぜひ、ご覧ください。

・カリキュラム
・部活動
・進路
・町の補助 等



1 月行事予定

日	曜	行 事 計 画	給 食
1	木	[元日] 学校閉庁日	
2	金	[学校閉庁日]	
3	土	[学校閉庁日]	
4	日		
5	月		
6	火	2年冬期講習 (T-base)	
7	水		
8	木		
9	金		
10	土		
11	日		
12	月	[成人の日]	
13	火		
14	水	ふれあいハイムボランティア活動	
15	木		
16	金	頭髪服装点検 大掃除 第1回大原基礎学力模試 (2年) Omp II ㉔ (2年6h総) 弁当販売 (3年課研)	○
17	土	大学共通テスト① ベネッセ総合学力テスト1月 (1・2年)	
18	日	大学共通テスト② 全商情報処理検定②	
19	月	中高連携部活動 プレ体験	○
20	火	A L T 来校 中高連携部活動 プレ体験	○
21	水	職員会議 (定例・推薦入選) 考査1週間前 (3年) 定時退勤日	○
22	木		○
23	金	卒業後の進路に向けて (3年6hH) Omp I ㉔ (1年6h総) 中高連携部活動 プレ体験	○
24	土	英検③	
25	日	全商簿記実務検定②	
26	月	3学年選E保育実践2・3hマリア幼稚園訪問実習②	○
27	火		○
28	水	後期期末考査3年①	12年○
29	木	後期期末考査3年②	12年○
30	金	後期期末考査3年③ 職員会議 (一般入選・卒業式) 5h授業 Omp I ㉔ (1年5h総) 定時退勤日	12年○
31	土		